

りんご「きおう」の表面色カラーチャートによる収穫適期判断

「きおう」は早生の有望品種であるが、果皮が黄色で収穫適期の判断が比較的難しく、簡易な判定技術が求められていた。今回作成した「きおう」用表面色カラーチャートの利用により、収穫適期の判断が客観的に可能となった。

主な特徴と使用方法

- 表面色指数を6段階とし、指数間に穴を開けて比色の簡便化を図った
- 「きおう」は、表面色の变化が果実品質(熟度)の変化を正確に表し、収穫適期はカラーチャートの表面色指数で2.5～3.5である
- この収穫適期は、満開日から起算すると115～120日に相当する
- 表面色を見る場合、果実赤道部の陽光面と陰光面の間を比色する
- 収穫開始予定日の10日前から2～3日ごとに測定し、収穫期を把握する
- 測定時は直射日光下を避け、比較的明るい日陰で比色する

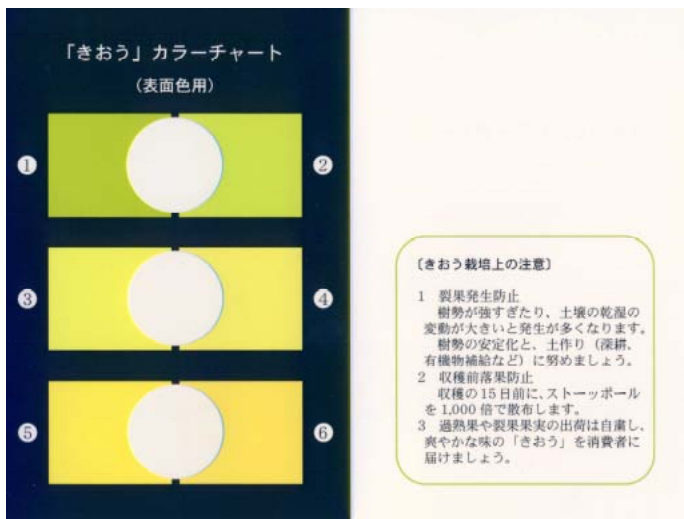


図1 「きおう」用カラーチャート

このカラーチャートの表面色指数は果実の実際の色変化にほぼ合致し、果色判断に利用することができる。

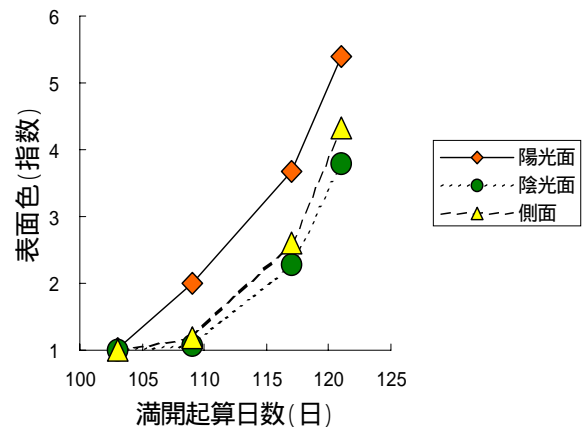


図2 表面色指数の経時変化

表面色指数は収穫期直前(満開 110 日後)から急激に変化し、この変化が収穫期の判断に利用可能である。

表1 可食適期および収穫期の表面色目安

表面色指数	1	2	3	4	5
可食適期			←————→		
即売用収穫期			←————→		
出荷用収穫期			←————→		

販売方法により収穫時期並びに表面色の目安は異なり、**出荷用果実の収穫期は可食適期よりやや早めの収穫となる。**